

すみなかし

No. 3

1959, 3

川内昆虫研究会

も く じ

高隈の麓にて	佐竹新	1
未記録への挑戦	田村勝	4
昆虫採集のもつ役割	篠崎真七	9
鱗翅雑記	紫尾蝶太郎	10
ウスイロコノマについて	坂口邦彦	11
標本贈與のこと	佐竹新	12
鹿見島下及び川内市薩摩郡に於ける 記録予想蝶73種	田村勝	13

あとがき

高隈の麓にて

新 竹 佐

岳が先か、のつ水ウシ... 色10しんれの内新聞で人な... あ川
 御の真た私茂清ヨカジた戦後まが触へ新がのげ... がた
 高隈の眼あといキアシマてくへい界の事こ送林すざが
 るてのりてのてがたマてくさ育熱去のえの氏たり注
 誇え私りてのてがたマてくさ育熱去のえの氏たり注
 をびう連てビ交イ生リぐさ中敢の自がと押の田ついう
 高そ向なつマびぬ密キめまを科ち私たを多永な温う
 標てに敬とヤ飛れ、たをは求理たに。私たを多永な温う
 のせ地峻をくの知道、たをは求理たに。私たを多永な温う
 米見任のン暗メも林で私れ欲。師中た幕の朝、たにの降る。
 2を新々ペ尚バといん。そのは敢のき南の雨れぐ会向つて
 18態て山の登ツ十し飛月る。へ私た眼でに盛がれと深研究に
 1姿の降「こ」はサてまがのて蝶それ幾こが中別つと研私に
 は影を「し」のラしてまがのて蝶それ幾こが中別つと研私に
 らと船はがもムそ間き有風景の流さのる展の送ふい研私に
 か光でのなる。山輝年ののたつと少を昆虫胸で見は多にが
 窓な港たみかやや尾と2界いあり年きの昆は私教圍海が書で。
 の彩水えすろ森間紫ラ任然て野りるニら。川私を私に周の情
 家多垂ら「むの樹たキ在自然て野りるニら。川私を私に周の情
 のに。とてに陵い「ラ内を統沃振たやがた。後そ友任依い
 私夕る。くしら山るてキ川かりたにトらんしなつ離い田し
 まにれしうら愛明れを、た眠れ惣トらんしなつ離い田し
 が朝ま激こな可の群梢等ゆた眠れ惣トらんしなつ離い田し
 が望に、また岡のの... 彩年てな... らででさか顔をそり、内
 鹿の美らとら内顔きなる日、

した、うて、男家、よ、休、つ、た、か、一、採、る、も、の、と、に、の、し、く、柄、再、で、私、ス、ギ、ン、ル、ン、ジ、ミ、ナ、カ、マ、ヨ、ウ、マ、ヨ、ウ、カ、ノ、今、年、君、は、尾、が、び、ど、つ、と、食、し、い、君、が、よ、楽、日、に、わ、か、ら、る、の、し、事、務、で、私、ス、ギ、ン、ル、ン、ジ、ミ、ナ、カ、マ、ヨ、ウ、マ、ヨ、ウ、カ、ノ、今、年、君、は、尾、が、び、ど、つ、ろ、シ、草、た、ま、も、在、う、れ、に、御、岳、高、標、捕、に、カ、ル、ギ、ン、お、こ、い、も、の、同、点、で、現、在、病、取、中、の、折、と、遠、川、内、(S.33)2月、君、は、尾、が、び、ど、つ、こ、草、た、ま、も、在、う、れ、に、御、岳、高、標、捕、に、カ、ル、ギ、ン、お、こ、い、も、の、同、点、で、現、在、病、取、中、の、折、と、遠、川、内、(S.33)2月、君、は、尾、が、び、ど、つ、と、食、し、い、君、が、よ、楽、日、に、わ、か、ら、る、の、し、事、務、で、私、ス、ギ、ン、ル、ン、ジ、ミ、ナ、カ、マ、ヨ、ウ、マ、ヨ、ウ、カ、ノ、今、年、君、は、尾、が、び、ど、つ、た、れ、こ、し、満、研、究、ま、じ、く、聞、振、た、ら、る、の、と、に、の、し、く、柄、再、で、私、ス、ギ、ン、ル、ン、ジ、ミ、ナ、カ、マ、ヨ、ウ、マ、ヨ、ウ、カ、ノ、今、年、君、は、尾、が、び、ど、つ、ね、ら、こ、し、満、研、究、ま、じ、く、聞、振、た、ら、る、の、と、に、の、し、く、柄、再、で、私、ス、ギ、ン、ル、ン、ジ、ミ、ナ、カ、マ、ヨ、ウ、マ、ヨ、ウ、カ、ノ、今、年、君、は、尾、が、び、ど、つ、た、お、か、げ、伊、藤、研、究、ま、じ、く、聞、振、た、ら、る、の、と、に、の、し、く、柄、再、で、私、ス、ギ、ン、ル、ン、ジ、ミ、ナ、カ、マ、ヨ、ウ、マ、ヨ、ウ、カ、ノ、今、年、君、は、尾、が、び、ど、つ、た、て、た、は、友、心、つ、合、日、ツ、採、ジ、未、ル、に、多、も、こ、め、な、し、ま、註、界、の、北、の、お、に、可、に、近、か、た、め、た、の、合、ミ、語、か

集とね。ア生ラけれ後の道。の好の類け依の県。れ以良天ミ蝶会上も
 群だ。群ウだ知前葉、ミリ同州種いいた箇山、何尾奈はマる究し
 唯事負だ。び頸もをはにマドる本るは家つ滋智が紫メ等シ壯研申
 。ハ勝蝶ごだ。一ガシ合シミは。セ獲集まは邪オとバハリゲキ喜願
 す。ハのい百氣にるキびエリマらま。が乱掃ししての事陽ワゲキ喜願
 まし。のい百氣にるキびエリマらま。が乱掃ししての事陽ワゲキ喜願
 先。ま美も当く産ウ。うにリドのをっをしと山。あはルドま。さか
 てを句なが。相し多はなよ。後キ固。四従心滅録歌。がでラウ。い人下。ま徒
 じ。季中。かた。芳ら。に。生。たる。最。が。と。し。い。品。は。の。山。と。マ。の。け。上。ん。り。の
 情。所。月。静。かり。尚。的。先。の。が。が。と。し。い。品。は。の。山。と。マ。の。け。上。ん。り。の
 と。は。8。に。ヤ。ド。珍。地。も。ろ。相。ま。さ。と。し。い。品。は。の。山。と。マ。の。け。上。ん。り。の
 る。事。ら。実。る。ミ。も。局。い。の。こ。る。で。程。め。高。下。尚。中。ド。リ。山。路。地。キ。高。を。受。以。し。ん。り。の
 さ。い。か。は。ゆ。オ。に。を。独。と。い。て。程。め。高。下。尚。中。ド。リ。山。路。地。キ。高。を。受。以。し。ん。り。の
 で。を。月。の。そ。も。何。だ。を。単。口。で。い。い。さ。の。い。の。さ。マ。の。県。く。取。ジ。保。護。よ。つ。は。出
 見。ら。し。う。こ。や。如。識。知。部。コ。ん。つ。て。府。中。を。界。集。シ。都。知。な。鳥。シ。の。の。殺。が。ま
 発。な。い。た。ミ。は。思。で。全。口。審。に。之。の。島。小。虫。採。リ。京。高。は。ス。家。ら。は。席。が。ま
 ず。は。多。と。ガ。ジ。合。不。学。ガ。コ。と。識。考。当。珍。志。昆。と。キ。山。更。地。で。一。ミ。固。れ。け。の。思。た。
 必。れ。の。ミ。び。シ。場。ら。浅。た。ガ。に。認。の。相。そ。を。赤。頭。す。山。更。地。で。一。ミ。固。れ。け。の。思。た。
 は。け。兩。ジ。飛。り。の。が。は。し。玉。葉。再。ん。は。こ。と。徒。百。す。山。更。地。で。一。ミ。固。れ。け。の。思。た。
 生。な。シ。は。ド。ミ。い。住。集。の。い。さ。で。水。こ。何。で。比。大。多。い。の。と。ミ。乱。座。た。ま。で。ご。ざ。い。ま。し。た。
 先。し。す。ン。ミ。シ。ジ。を。先。採。銀。通。ミ。寄。と。そ。う。相。頭。位。山。の。ア。無。山。物。ジ。ら。に。終。り。さ。ま。で。ご。ざ。い。ま。し。た。
 意。ま。キ。ジ。し。シ。い。が。程。水。に。ジ。は。鳥。は。い。ん。十。の。吹。泉。し。は。草。念。シ。か。林。終。り。さ。ま。で。ご。ざ。い。ま。し。た。
 ね。注。い。ラ。シ。る。ン。か。い。頭。を。業。に。シ。は。鳥。は。い。ん。十。の。吹。泉。し。は。草。念。シ。か。林。終。り。さ。ま。で。ご。ざ。い。ま。し。た。
 う。上。思。ウ。カ。す。キ。し。な。20。上。い。り。晒。着。人。だ。ま。り。も。の。鳥。も。外。景。然。ド。で。の。皆。で。御。

— (筆者、川内昆虫研究会員、現在 川内市役所建設課勤務) —

訂正

すみながし Vol. 2 NO2. P4 “Kさんを憶う、
 の中で誤りがありましたので訂正致します。
 P4. 9行目 ウラギンシジミ♂1は ウラギンシジミ♂1の誤り
 P4. 13行目 昆虫界(加藤正英)は 昆虫界(加藤正世)の誤り
 P6. 5行目 虫の数虫は 虫の数々の誤り

昆虫採集のもつ役割

篠崎 真七

生物学の究極の目的は「生命現象」の把握である。その機能(種族の)を研究過程をよく考へて見ると、生き残るため(種族の)の形態を観察し、生物体はどのように構成されるか、その生理作用の基礎となるものを採集する。採集は、生物の形態を研究する上で、重要な役割を担っている。採集は、生物の形態を研究する上で、重要な役割を担っている。採集は、生物の形態を研究する上で、重要な役割を担っている。

1. 生命の尊厳を重んじ、採集の方法をいかにするかを研究する。
2. 環境と植物など、即ち場所の研究を心にとめておく。
3. 相互関係まで深めて行く。
4. 正しい採集の方法を用いること。
5. 正しき採集の方法を用いること。
6. 切手蒐集のよき方法を常に新鮮な思考で生かすこと。
7. 創意工夫をこらして常に述べたが、これは教育という立場から考へる私の考へであります。

筆着 川内昆虫研究会顧問

川内北中学校理科センター要員

会 員 を 募 る

会費不要

市内、小、中、高、校生、及び一般の同好の士よ、ふるって御入会下さい。連絡は川内北中、向園へ。

(隨 想) 鱗 翅 雜 記

紫 尾 蝶 太 郎

で先得て推さつたどの話いこしお中たこく。夕ぐして去ジュ時ニヒた。中あやメて手ま
 けるをいら蝶の私にあれ上付部屋にのれた。ウを静や飛ン少ツくかのやっでは
 めむてが登的にうびあまき上付部屋にのれた。ウを静や飛ン少ツくかのやっでは
 りしやみろが鑑画的にうびあまき上付部屋にのれた。ウを静や飛ン少ツくかのやっでは
 いもをこ鑑画的にうびあまき上付部屋にのれた。ウを静や飛ン少ツくかのやっでは
 もらの欄と窓全うたもあまき上付部屋にのれた。ウを静や飛ン少ツくかのやっでは
 虫屋にの換蝶はがくるよたのぼト帰し除けあにとラえや掌ンツシが並はっ感カ等ぢら蝶
 甲しあ多蝶で。て「はにメ持て掃めなよでのふけツサアオ。を見うオンのまゆ
 ば嫌倒の界だ。て「はにメ持て掃めなよでのふけツサアオ。を見うオンのまゆ
 れ研究の倒の界だ。て「はにメ持て掃めなよでのふけツサアオ。を見うオンのまゆ
 おに昆虫の倒の界だ。て「はにメ持て掃めなよでのふけツサアオ。を見うオンのまゆ
 も的好新の虫な蝶と一学校と羽部どはを朝ツと見ニズメ住眺つヨと鱗そ
 屋問にのせらにのね私で幾ツと化し顔ユすオカ止ツガなツ島採うしもき
 蝶学も誌のや事つ蝶わの頃蝠にわ猿愛マの葉げた灯ニオ入ス兒そしるん
 も純ど雑の四五多いあすその度園わ種可ヤの落上ば街たハ、はウ鹿めり欲す飛
 て私。すもど類い。然る夕日。のまのにはも羽朝歩しノ手いり。は立でた沢け
 いた。れ。希望もが部と。中ニ或ツバメの。拾き早て過ッた。で帰をへ今つに
 とわい。を。大み。の。題。中ニ或ツバメの。拾き早て過ッた。で帰をへ今つに
 屋にお思換たら蝶屋話な。中ニ或ツバメの。拾き早て過ッた。で帰をへ今つに
 虫般と交まが蝶屋話な。中ニ或ツバメの。拾き早て過ッた。で帰をへ今つに
 に全さだ本。とち蝶屋話な。中ニ或ツバメの。拾き早て過ッた。で帰をへ今つに
 口学は事標もニ即はるが。ある。見と等。に。西。な。ラ。後。マ。ス。よ。メ。で
 一虫方の蝶しれアンも更の種ばが。ある。見と等。に。西。な。ラ。後。マ。ス。よ。メ。で
 昆虫の蝶しれアンも更の種ばが。ある。見と等。に。西。な。ラ。後。マ。ス。よ。メ。で

鹿児島県下及び川内市薩摩郡に於ける記録予想蝶 73種

田村 勝

(註 I)

本-----本州
 四-----四国
 琉-----琉球
 北-----北海道
 九-----九州
 台-----台湾

(註 II)

×
 ※
 ○
 ◎
 △

県下に於て記録されている蝶
 記録は難かしいが不可能と断定できないもの
 やや記録の可能性あるもの
 大いに記録の可能性あるもの
 発生分布共に確信あるもの

科	和名	分布	記録	予想地	備考
アゲハチョウ科	ギフチョウ	本		紫尾 霧島	※ ○ ◎ (迷)
	ウスバシロチョウ	北 本 四		紫尾 霧島	
	シマカラスアゲハ	北 本 四 九	×	川薩低山地帯	
	シロヒメアゲハ	琉 奄 大 台	×	県 下 ?	
シロチョウ科	スズバヤマトチョウ	本 四 九		紫尾 霧島	◎ (迷) (迷) (迷) (迷) ○
	ウスバシロチョウ	琉	×	県 下 ?	
	メスジロキチョウ	琉 台	×	県 下 ?	
	ウラナシロチョウ	奄美 琉 台		県 下 ?	
	クワンモンシロチョウ	奄美 琉 台		県 下 ?	
	リマベニチョウ	九 琉 台	×	川 薩 ?	
マダラチョウ科	スズグロカマダラ	奄美 琉 台	×	県 下 ?	(迷) (迷) (迷) (迷) (迷)
	カバマダラ	全 上	×	県 下 ?	
	コモンアサギマダラ	琉 台	×	県 下 ?	
	ウスモンアサギマダラ	全 上	×	県 下 ?	
	リコウキミアサギマダラ	奄美 琉 台	×	県 下 ?	
オオゴマダラ	全 上		県 下 ?		
ヤマトチョウ科	ジャメチョウ	北 本 四 九	×	川薩低山地帯	△ △ ○ ◎ ◎
	ヒカゲチョウ	全 上	×	川薩低山地帯	
	クロヒカゲモドキ	全 上	×	川薩低山地帯	
	ヒキマダラヒカゲ	全 上		紫尾 霧島	
	キマダラモドキ	全 上		全 全	
タテハチョウ科	オムラサキ	北 本 四 九	×	川薩低山地帯	◎ (迷) (迷) ○ ○ △ ○ ○ △ ○ △
	ヒメオドリ	琉	×	県 下 ?	
	アカホシゴマダラ	琉 台	×	県 下 ?	
	アサマイトンジ	本州特産		紫尾 霧島	
	ホシミスジ	本 四 九		川薩平地低山地帯	
	サカハチチョウ	北 本 四 九	×	川薩低山地帯	
	オオミスジ	北 本 四		霧島 紫尾	
	シータテハ	北 本 四 九		全 全	
	ヒオドリ	全 上	×	川薩全域	
	オオムラサキ	中国山脉		紫尾 霧島	
アオクマムシ	奄美 琉 台	×	川薩全域		

科	和名	分布		記録予想地	備考
	クテハモドキ	奄美琉球	X	川薩全域	△
	メスアカムラサキ	合上	X	川薩全域	◎
	アカシジミ	北本四九		紫尾霧島	○
	ウラケンシジミ	北本四九		紫尾霧島	○
	ウラゴダラシジミ	北本四九		川薩低山地帯	○
	ミズイロオナガシジミ	北本四九	X	川薩低山地帯	◎
シ	ウスイロオナガシジミ	北本九	X	霧島紫尾	◎
	ダイセンシジミ	北本一		同上	○
	ウラクロシジミ	本四九			○
ジ	ミドリシジミ	北本四九		合上	△
	メスアカミドリシジミ	北本四九	X	紫尾霧島	△
	アイノミドリシジミ	北本四九	X	合上	◎
ミ	オオミドリシジミ	北本四九		合上	◎
	ヒサマツミドリシジミ	南西四九		紫尾霧島	△
	ジョウザンミドリシジミ	本北		紫尾霧島	○
ナ	エゾミドリシジミ	北本四九		合上	◎
	ハヤシミドリシジミ	北本四九	X	合上	◎
	フザミドリシジミ	本四九北	X	合上	
ヨ	カラスシジミ	本北九	X	合上	△
	ミヤマカラスシジミ	北本四九		合上	○
	ルーミスシジミ	本四九	X	川薩低山地帯	△
ウ	ヒメシジミ	北本四九		霧島紫尾	○
	ミヤマシジミ	本四		合上	○
	オオルリシジミ	中部東北九州		合上	◎
科	ゴマシジミ	近畿以外の地		果下低山地帯	○
	ヤシマルシジミ	琉球屋久	X	果下平地山地帯	◎
	イワカワシジミ	合上	X	合上	◎
	ツツパムシシジミ	合上台	X	合上	△
	コツバメ	北本四九		合上(川薩)	△
	ゴイシシジミ	北本四九	X	県下全域	
	キマダラルリツバメ	鳥取京都滋賀		川薩平地山地	○
	トラフシジミ	北本四九	X	川薩低山地帯	◎
	スキタニルシジミ	全国各地		川薩平地山地	○
	フロツバメシジミ	本四九		川薩山地帯	
	アマミウラナミシジミ	琉球奄美	X	川薩全域	◎
セ	ミヤマセセリ	北本四九	X	川薩全域	△
セ	ヤマダラセセリ	本四		川薩?	○
リ	ギンイチモンジセセリ	北本四九		合上	○
チ	スジグロチャバネセセリ	北本四九		川薩低山地帯	◎
ウ	ヘリグロチャバネセセリ	本四九		霧島紫尾	△
科	コキマダラセセリ	北本		合上	○

あ と か き

発行がおくれですみません。やっと「すみながし
 3号」をお手もとにお届けする段に存りました。
 1958年8月顧問の佐竹新氏が鹿屋に転勤さ
 れ、続いて10月初旬には副会長の永田幸吉氏
 鹿兒馬市の田上小学校へ転勤と、この会育ての支
 親でも大きくやつとの思行する予定で仕事を進め
 障も大さくやつとの思行する突然の転出で、加えて
 本号の1958年のお卒業生担任に任せ、進路指導
 て来た中学校の卒業生が、それだけ粗末な内容には
 私か中校の卒業生が、それだけ粗末な内容には
 申し暇をいたしました。然し盛上への一途を早く御
 の余暇を利用して、常に向は、まこに恐縮に存
 でございまして。常に向は、まこに恐縮に存
 があると思ひます。常に向は、まこに恐縮に存
 本会の歩みで諸賢に對しては、まこに恐縮に存
 付下さるお許し下さい。
 新年度への豊は大きく、会の組織も再検
 討の上積極的進歩を求めたいと考えます。
 いよいよシーズンとなりました。
 会員皆様の御健闘を祈ります。

昭和34年 3月 25日
 編集発行者 角 園 榮 男
 発行所 川内昆虫研究会
 川内市宮内町、川内北中学校内